

消防だより



2月の広報テーマ
「住宅防火対策の推進」

119

日頃からの防火対策が大事!!

住 宅火災の出火原因を見ると、ほとんどが火気使用器具などの取扱いの不当や不注意によるものが多くを占めています。また住宅火災では就寝中に気づかず逃げ遅れたことにより死者を出した事例が多くみられます。

住宅を火災から守るため、日頃から火災予防の心がけとともに、安全装置の付いた調理器具や暖房設備、燃えにくい防災製品の使用、住宅用消火器の設置などが効果的です。

平成18年 消防出初式

1 月5日11時より、平成18年 虻田消防団消防出初式が役場・消防合同庁舎3階の防災センターで開催されました。

当日は、本町地区と温泉地区で車両パレードが繰り広げられ、その後同センターでの式典

が実施されました。

式典では、会社を挙げて消防業務・消防団活動に協力していただいた事業所や、長年にわたる消防業務に功績のあった団員の皆さんが表彰を受け、来賓各位から感謝と賞賛の言葉をいただきました。



温泉地区を車両パレード

婦人防火クラブ員による防火夜回りを実施

12 月20日、入江4区婦人防火クラブ員約20名(会長 尾形八重子)が「防火夜回り」を行いました。



「火の用心」の声をかけながら行なわれた夜回り

防火夜回りは、同防火クラブの年間行事として春、秋、年末の3回実施。

今年も寒空の中、会員の住む入江4区の住宅地周辺を防火法被に拍子木を持ち、無火災の願いを込めて「火の用心」の掛け声をかけながら地域を巡回しました。

統一標語は「あなたです 火の用心」の 見はり役

Fire

●●12月の●●
救急 火災

450件

わたしのうた

短歌 「あぶた短歌会」十二月定例会より

今日よりは師走と思ふ忙しき	老いにさしたる用のなけれど	ひととせの反古のなかり過ぎゆくも	人の思ひのなほ香りある	立冬の陽の暖かく庭菊の	一花ごとに羽虫潜めり	買物を両手に持ちて帰り道	顔にぶつかると雪虫払えず	旅に出し妻の居ぬ夜はひとり酌む	酒量も肴も何故かすすまず	紅に染りて木の葉まき散らし	雪も近しと木枯吹きぬ	から松の時雨に濡るるこの道は	暮しにつづく落葉降る道	石落は未枯れし庭に咲きはこり	つややかな葉のみどりやさしも	道の上の枯葉は風にいっせいに	立ちて走りて渦巻き倒る	風邪ひきてうつうつ眠るわが近く	孫が掛けしか葉っぱのフレイディ	悲惨なる事件多発をうれひつつ	清き世なれと祈りはやまず
斎藤 テツ	大 西 芳子	赤塚 瑛子	伊藤 静子	太田 智	北 島 加代	山 木 孝	石 黒 まさ子	今 静 峰	中 野 イマ	大久保 とみ乃											

俳句 「あぶた俳句会」一月定例会より

あらたまのときとくとくと乳呑む嬰	わが怠惰又叱咤せる吹雪の穂	新年を突っ切ってゆく郵便夫	鳥居より海見て下る冬帽子	餅花に見とれてをりぬ露天の湯	捌かれて並べ値切られ子持ち鱈	翔つ鳥の金鶏となりて年明くる	雪掻きでうつぶん晴らししていたり	三日はや手枕の子の時刻表	大雪は豊饒の萌し初句会
瀬 川 総	岩 木 秋 水	井 村 育 子	矢 野 知 子	白 井 み え	小 笠 原 勇	那 須 伶 子	塩 川 サチ子	菅 原 敏 子	三 瓶 修